

RAYMOND WEIL

GENEVE

INSTRUCTIONS FOR USE

REF. 2765

SELF-WINDING MECHANICAL WATCHES
WITH GMT WORLDTIMER FUNCTION

はじめに

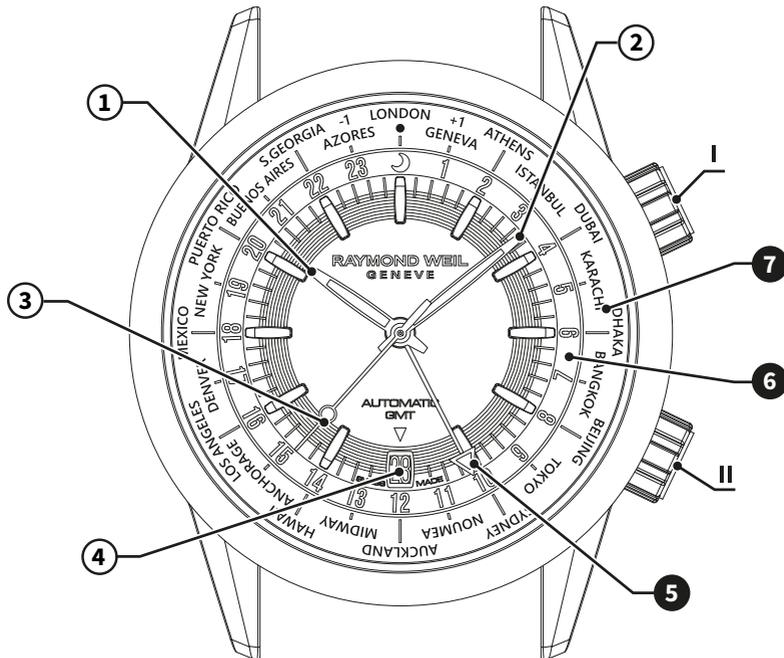
このたびは、RAYMOND WEILの時計をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。RAYMOND WEILの時計は、スイス時計業界の最も厳しい品質基準に従って、熟練した時計職人が手作業で組み立てています。お客様の時計を末永くご愛用いただくために、この取扱説明書および国際保証書をよくお読みいただきますようお願いいたします。この時計は、機械式自動巻きムーブメント、GMT機能、50時間のパワーリザーブを備えています。

注：時計が止まってしまった場合

2時位置のリユーズを時計回りに20～30回回してください。時計を装着すると、手首の自然な動作に合わせて自動的に巻き上げられます。

文字盤の機能

フリーランサー GMTワールドタイマーは、フランジに24都市を表示しており、24の異なるタイムゾーンの時刻を同時に確認することができます。



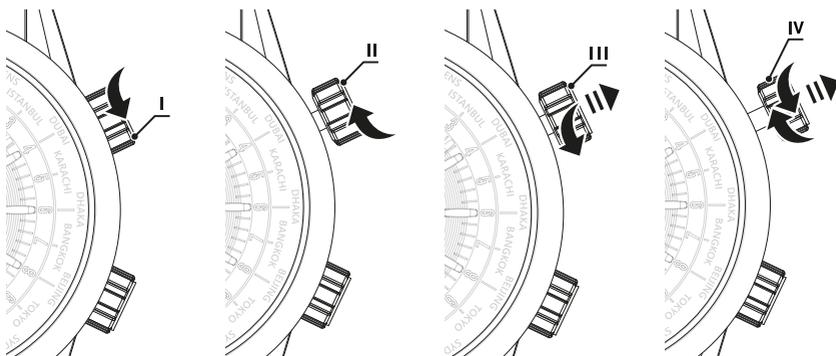
- ① 時針
- ② 分針
- ③ 秒針
- ④ 日付表示

- ⑤ GMT針
- ⑥ 24時間目盛り
- ⑦ 24都市を表示するフランジ
- I 2時位置リユーズ
- II 4時位置リユーズ

GMT・ワールド
タイマー機能

日付・時刻の調整

巻き上げや日程・時刻の調整は、2時位置リユーズを操作することで行います。まずは、リユーズを反時計回りに回し、ねじ込みを解除してください（Ⅰの位置からⅡの位置に引き出てきます）。調整が完了したら、時計の防水性を維持するために、リユーズを垂直に押しながら時計回りに回してねじ込みます（Ⅱの位置からⅠの位置に戻ります）。



日付の調整

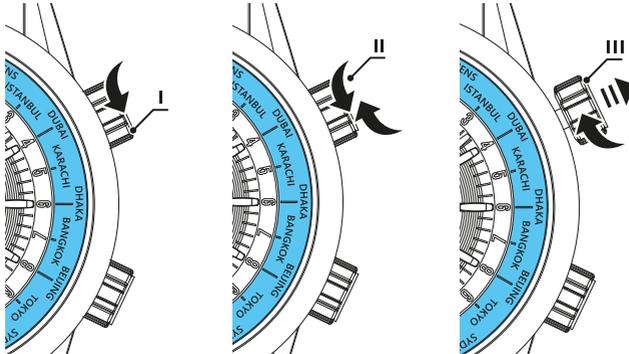
2時位置リユーズを1段引き出します（Ⅲの位置）。リユーズを反時計回りに回し、日付を調整してください。時針が0時を過ぎると、日付は自動で変更されます。ムーブメントが損傷する恐れがあるため、2時から2時の間は、手動で日付を変更しないでください。調整が完了したら、リユーズを垂直に押し引き出しを戻し、さらに垂直に押しながら時計回りに回してねじ込みます。

時刻の調整

2時位置リユーズを2段引き出します（Ⅳの位置）。リユーズを時計回り・反時計回りに回し、時刻を調整してください。調整が完了したら、リユーズを垂直に押し引き出しを戻し、さらに垂直に押しながら時計回りに回してねじ込みます。

第二時間帯 (GMT針) の設定

2時位置リュースを I 段引き出します (III の位置)。リュースを時計回りに回し、24時間表示リングを参照しながら GMT 針を調整します。調整が完了したら、リュースを垂直に押しつけて引き出しを戻し、さらに垂直に押ししながら時計回りに回してねじ込みます。



下図の例では、時分針がジュネーブの時刻=10時8分 (ローカルタイム=現地時刻)、GMT 針がロンドンの時刻=9時8分 (ホームタイム=第二時間帯) を示しています。

